団体名:池上台ハウス管理運営委員会
活動名:まちの縁側づくり

日　時:令和２年12月７日(月)　　13時30分～15時00分
場　所:池上台ハウス

■団体の紹介■

緑区池上台のご自宅を「池上台ハウス」として町の人に開放し、まちの縁側として近隣の皆さんが利用できるようにしている。ＨＰを開設し、更にまちの縁側として利用しやすいように予約表を見られるようにした。今後は、多くの住民にハウスの広報をして利用者を増やすことを目標にまちの縁側として根付いていく活動をしていく。

■活動の内容■

コロナ禍において、多くの人が集まらなくてもできる形のイベントを企画し、クリスマスコンサートとして開催しました。池上台ハウスの２階の会場で、事前に撮影した演奏の映像を大画面に映し出して、それ観賞するという形で実施しました。

最初は、普段から池上台ハウスが応援する取組をしている施設の方々によるドラム演奏。これまでも色々な場所で演奏会をされているという事で、息ぴったりの演奏です。このようなパートナーシップによる企画が実現するのは、この地域に助け合いの活動が根付いている証だと感じられました。

次に、近隣の教室でオカリナとピアノを教えている先生の生徒さんによるオカリナ演奏会。ご長寿メドレーと称してみんなが知っているような懐かしい曲を４曲ほど続けて演奏されました。続いて、ピアノを習っている子供たちの演奏です。自宅でそれぞれの演奏しながら、最後は４人全員での合奏になりました。

最後に、今回唯一の生演奏、南生協病院の職員さんが、会場で、ケーナの演奏。ケーナとは南米の縦笛で、聴きなじみのある「コンドルは飛んでいく」を熱演されました。普段聴くことのない楽器の音色に、新鮮さを感じます。横笛に変えて、日本の曲も演奏されました。

コンサートを鑑賞した後は、会場に集まったみんなで、ハンドベルの演奏。慣れないながらも気持ちをこめた演奏で、一体感がありました。

今後は練習を重ねて、どこかでお披露目できることが目標だそうです。

人が集まる機会をもつことが難しかった一年ですが、今回クリスマス会を、会場に集まって開催出来た事で、ご近所の皆さんはとても満足された様子でした。

今後も工夫をして、みんなが気軽に集まれる憩いの場としてこれからもまちの縁側づくりを継続していっていただきたいです。